

**製品名: CDHF11 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08541**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	CELSR3 CELSR3; CDHF11; EGFL1; FMI1; KIAA0812; MEGF2; Cadherin EGF LAG seven-pass G-type
別名	receptor 3; Cadherin family member 11; Epidermal growth factor-like protein 1; EGF-like protein 1; Flamingo homolog 1; hFmi1; Multiple epidermal growth factor-
遺伝子 ID	1951.0
SwissProt ID	Q9NYQ7
免疫原	抗血清はヒト CELSR3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

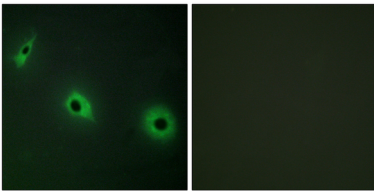
**背景**

この遺伝子は、カドヘリンスーパーファミリーに含まれるフラミンゴサブファミリーに属します。フラミンゴカドヘリンは、カテニンと相互作用しない非古典型カドヘリンで構成されています。フラミンゴカドヘリンは、細胞外ドメインに7つの上皮成長因子様リピート、9つのカドヘリンドメイン、および2つのラミニンA G型リピートを含む細胞膜タンパク質です。また、このサブファミリーの特徴である7つの膜貫通ドメインも持っています。コードされているタンパク質は、接触依存性神経突起成長の調節に関与し、腫瘍形成に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2013年6月],機能: 陰イオン輸送には関与していないようです。機能: 神経系形成中の細胞間シグナル伝達に重要な役割を果たす可能性のある受容体。類似性: Gタンパク質共役受容体2ファミリーに属します。LN-TM7サブファミリー。類似性: SLC26A/SulPトランスポーター (TC 2.A.53)ファミリーに属する。類似性: GPSドメインを1つ含む。類似性: ラミニンEGF様ドメインを1つ含む。類似性: STASドメインを1つ含む。類似性: ラミニンG様ドメインを2つ含む。類似性: EGF様ドメインを8つ含む。類似性: カドヘリンドメインを9つ含む。組織特異性: 普遍的に存在する。腎臓と膵臓に最も多く存在する。心臓、骨格筋、肝臓、胎盤では発現が低い。肺と脳にも存在する。、

## 研究分野

-

## 画像データ



CELSR3抗体を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



CELSR3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。